

大綱主要項目		事務事業の効率化				
具体的な項目		民間委託等の推進				
実施計画項目		民間活力の活用（スポーツ施設）				
担当課		スポーツ振興課		関係課		
No.Ⅲ-2-(1)		令和3	4	5	6	7
実施年度	実施計画	○	○	○	○	○
	効果又は 数値目標	導入検討	導入検討 先進地の情報 収集等	導入検討 （方向性の検討） 対象施設検討 市場調査準備 仕様書作成準備	導入検討 （方向性の検討） 市場調査実施 募集要項・仕 様書作成等 管理料積算	方向性の確定
進捗 状況	実績	A	A	A		
	効果又は 数値実績	導入検討 業務委託実施	導入検討	導入検討		
現状と課題						
施設管理においては、一部民間委託を導入し運営している（総合運動公園北・南ブロック）。 指定管理者制度の導入については、これまで総合運動公園を対象として検討してきた経過であるが、限定した対象施設では、経費削減等のメリットを見出すことが難しい現状にある。 そのため、総合運動公園だけでなく、スポーツ振興課で管理をしている全てのスポーツ施設の管理運営について、民間委託や指定管理者の導入等を検討していく必要がある。また、現在の一部民間委託が令和7年度で終了するため、令和7年度までに今後の方向性を確定させる必要である。						
課題解決に向けた方策						
検討対象施設・業務を全てのスポーツ施設に広げ、サービス向上、経費の削減、民間ノウハウの活用等の手法を再検討する。 民間活力を最大限に活用して施設の効率的な運営や市民サービスの向上を図るため、民間委託や指定管理者制度の導入に関するサウンディング型市場調査を実施する。 真岡市の実情を踏まえ、収集データによる施設管理シミュレーションを行いながら、市民にとってより良い運営手法を検討していく。						
具体的な取組内容						
【令和5年度】 スポーツ施設に指定管理者制度を導入している先進地を視察することで、担当者同士が実務レベルで意見を交換するとともに、参考となる情報を得ることができた。						
実績考察（理由、改善すべき点等）						
【令和5年度】 指定管理者制度の導入については、真岡ハイトラ運動公園のように収益性のある施設であれば、自主事業の開催等による収入増も見込まれるため、収益を市民サービスへ還元することで更なる利用者増を目指す良好な運営サイクルが期待できる。 スポーツ施設全般において効果的・効率的なアウトソーシングを実現するためには、契約に係る募集要項（仕様書等）の中で業務内容を適正かつ詳細に示す必要がある。						
考察を踏まえての今後の取組方針						
【令和6年度以降】 ・民間事業者を対象としたサウンディング型市場調査の実施 ・適正な業務のアウトソーシングを踏まえた施設管理区分の選定及び募集要項（仕様書等）の検討						